

令和8年度企画展

秋田の 大地と 成り立ち

2026年

4.25 Sat. 土 ~ 6.28 Sun. 日

秋田県立博物館 企画展示室 入場無料

開館時間 9:30~16:30 休館日 月曜日 ※祝日と重なった場合は次の平日

 秋田県立博物館

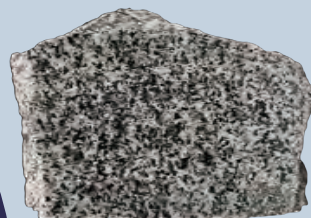
〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山52
TEL:018-873-4121 FAX:018-873-4123 <https://www.akihaku.jp/>

※20万分の1日本シームレス地質図 (©産総研地質調査総合センター) 一部改変

秋田の地質をもっと身近に感じてみませんか

現在の秋田県が、どのような地質活動の積み重ねによって形づくられてきたのかを、各時代の岩石・化石・鉱石・鉱物を通して紹介します。実物の化石や、美しい鉱物・鉱石の標本展示を通して、地質への興味や関心を引き出す内容になっています。この展示をきっかけに、秋田の大地の成り立ちをより身近に感じていただくとともに、ジオパークなど地質について学べる場所があることも知っていただければ幸いです。

白亜紀以前 (6600 万年以前)



花こう岩



三葉虫

恐竜やアンモナイトの時代や、さらに昔の三葉虫が栄えた時代の化石は、秋田県では見つかっていません。これは当時の地層が県内に残っておらず、地表には地下深くでできた花崗岩などの深成岩が露出しているためです。太平山や竜ヶ森で見られる岩石がその代表です。

古第三紀 (6600 万年前～約 2300 万年前)



ゴジラ岩 (古第三紀の堆積岩)



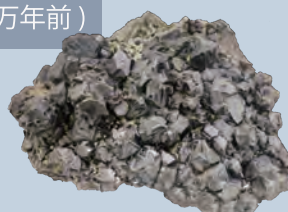
枕状溶岩

この時代の地層は秋田県内にわずかししか分布せず、男鹿半島北部や太平山周辺など限られた地域にしか見られません。そのため化石はほとんど発見されず、当時の様子はほとんど分かっていません。

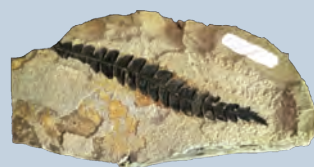
新第三紀 (約 2300 万年前～約 260 万年前)



原油のしみ出し (黒川油田)



閃亜鉛鉱巨晶群



ナウマンヤマモモ

この時代の地層は秋田県に広く分布しています。その多くは日本海ができ始めてから今の日本列島になるまでの時期に形成され、黒鉱や石油など多くの地下資源が生み出されました。また、堆積岩層からは多くの化石が見つかり、当時の環境が復元されています。

第四紀 (約 260 万年前～現代)



玉川温泉の噴気孔



鳥島山



ナウマンゾウの歯

第四紀は現生につながる時代です。火山や温泉、現在の地形の大部分はこの時代に造られました。

展示期間中
ギャラリートーク開催!!
日時詳細は HP で
ご確認ください。

Access

〒010-0124
秋田市金足鳩崎字後山52
TEL 018-873-4121

ホームページ・Instagram
Facebookあります。

秋田県立博物館



秋田県立博物館

JR

奥羽線・男鹿線
「追分駅」下車
徒歩 20 分

バス

秋田中央交通五城目線
「金足農業高校入口」下車
徒歩 15 分

自動車

秋田自動車道
「昭和男鹿半島 IC」から 10 分
「秋田北 IC」から 15 分

